
令和7年度

第2回 上越市青少年健全育成センター運営協議会

要 項

日 時 令和7年10月10日（金）

午後2時～3時30分

会 場 上越市教育プラザ 中会議室

上越市青少年健全育成センター

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 青少年健全育成センター事業の進捗状況

①街頭指導

②特別街頭指導

③P T A街頭指導体験

④育成委員研修会

⑤環境浄化活動

⑥社会を明るくする運動

⑦若者育成支援

⑧その他

(2) 情報交換

4 その他

5 閉 会

令和7年度
第2回上越市青少年健全育成センター運営協議会
資料

☆ 青少年健全育成センター事業の進捗状況

- 1 街頭指導 P 1
- 2 特別街頭指導 P2
- 3 P T A街頭指導体験 P 3~4
- 4 育成委員研修会 P 4
- 5 環境浄化活動 P 5
- 6 社会を明るくする運動 P 5~6
- 7 若者育成支援 P 6~8
- 8 その他 P8

1 街頭指導

(1) 街頭指導結果（4月～9月）

① 「注意・指導の月別人数」と「挨拶・声かけ人数」

* () は、令和6年9月までの人数

	注意・指導した人数						挨拶・声かけした人数
	幼児	小学生	中学生	高校生	合計		
4月	3 (0)	7 (0)	4 (1)	21 (5)	35 (6)	584 (877)	
5月	0 (0)	3 (0)	0 (0)	30 (29)	33 (29)	1,097 (661)	
6月	0 (5)	5 (10)	0 (1)	5 (28)	10 (44)	790 (1,179)	
7月	0 (0)	1 (0)	0 (3)	21 (21)	22 (24)	1,091 (663)	
8月	2 (5)	0 (0)	0 (0)	9 (0)	11 (5)	335 (189)	
9月	0 (0)	0 (1)	0 (0)	6 (0)	6 (1)	1,437 (847)	
合計	5 (10)	16 (11)	4 (5)	92 (83)	117 (109)	5,334 (4,307)	

② 注意や指導の内容と人数

* () は、令和6年9月までの人数

年層		幼児	小学生	中学生	高校生	合計
内 容	ジベタリアン	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (58)	41 (58)
	ゲーム機遊び	5 (10)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (10)
	カラオケ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)
	歩きスマホ	0 (0)	1 (0)	0 (2)	14 (0)	15 (2)
	交通ルール無視	0 (0)	7 (11)	4 (3)	28 (25)	39 (39)
	喫煙	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	6 (0)
	その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計		5 (10)	16 (11)	4 (5)	92 (83)	117 (109)

③ 9月までのまとめ

- ・今年度の注意・指導の人数は、昨年度の同時期より少し多くなっているが、注意・指導の対象となる非行や問題行動は少ない状況が続いている。
- ・挨拶・声かけをした人数は、青パト巡回指導を3回に増やしたことや育成委員の努力により、昨年度に比べて1,000人以上増えている。
- ・高田駅前付近、イオン上越店近くでジベタリアンへの注意・指導や声かけを行っている。
- ・「ゲーム機遊び」の幼児と小学生への注意・指導は、親から離れている子どもに行っている。
- ・自転車による交通違反では、小学生の並走やスマホながら運転、中学生の並走、高校生のスマホながら運転、雁木内走行や歩道走行、傘さし運転、2人乗りがあり、注意・指導をした。
- ・自転車のヘルメット着用については、小学生の着用率が高く、中学生は通学時の着用は良いが、週休日等には未着用が多い。高校生は、ほとんどが未着用である。事故時の安全確保のためにも、街頭指導の際にはヘルメット着用を呼びかけていく必要がある。
- ・高田駅立体駐車場で、高校生の喫煙があった。駐車場職員からの高校生の喫煙情報もあった。なお、たくさんの吸い殻を、ごみと一緒に育成委員が拾っている。
- ・育成委員の声かけに対しての反応が概ね良く、高校生も含め、子どもたち自ら挨拶をしてくることもある。また、地域住民から育成委員への声かけもある。

2 特別街頭指導

(1) 第1回特別街頭指導

- ① 日時 令和7年7月4日（金）15：30～16：30
- ② 場所 南高田駅周辺
- ③ 参加団体（参加数） 上越地区少年警察ボランティア連絡協議会（4人）
上越警察署生活安全課（3人）、上越少年サポートセンター（1人）
青少年健全育成委員（4人）、青少年健全育成センター（2人）
高田南城高校（1人）、高田商業高校（1人）、高田農業高校（1人）
合計（17人）
- ④ 立哨場所 南高田駅前、間嶋石油前、小竹製菓前
- ⑤ 指導内容 南高田駅の利用マナー・交通ルールの遵守・その他 状況により指導
- ⑥ 配付物 警察署及び青少年健全育成センターの啓発用ティッシュの配布
- ⑦ 実際の様子

「上越防犯の日」の時期に併せて実施しました。育成委員と少年警察ボランティア、上越警察署生活安全課、少年サポートセンター、市内高校3校教員の17人で、南高田駅を利用する高校生、下校中の中学生に声かけを行った。駅利用マナーは概ね良好だった。中学生、高校生は素直で、声をかけると良い返事が返ってきました。「ご苦労様」と自ら声をかけてくる生徒もいた。

生活安全課からは、「交通ルールが守られていた。自転車は左側を走行していた。ながらスマホもいなかつた。ヘルメットの未着用が多く、安全のためにも高校で指導をしてほしい。」と話があった。

今回、青少年健全育成啓発用ポケットティッシュと警察署提供の喫煙啓発用ポケットティッシュと一緒に配布したため、おおよその声かけ人数が把握できた。啓発用カードの内容が何種類もあり良かったという声があった。



街頭指導の様子

(2) 第2回特別街頭指導

- ① 日時 令和7年10月2日（木）15：30～16：30
- ② 場所 高田駅周辺、本町通り
- ③ 参加団体（参加数） 上越地区少年警察ボランティア連絡協議会（2人）、高田駅前交番（1人）
上越警察署生活安全課（3人）、上越少年サポートセンター（2人）
青少年健全育成委員（4人）、青少年健全育成センター（2人）
高田高校（1人）、高田北城商業高校（1人）、上越総合技術高校（1人）、
上越高校（1人）、直江津中等教育学校（1人）、関根学園高校（1人）
合計（20人）
- ④ 立哨場所 高田駅前、⑩営業所前、本町通り
- ⑤ 指導内容 高田駅の利用マナー・自転車ルールの遵守・その他 状況により指導
- ⑥ 配付物 警察署及び青少年健全育成センターの啓発用ティッシュの配布

3 P T A街頭指導体験

(1) 実施期間 令和7年6月、9月、10月、(11月は希望なし)

(2) 実施日・参加人数 ※6・9月は実際の参加人数、10月は予定の人数。

月	日	曜	コースと参加P T A	参加人数	育成委員担当
6 月	6	金	Aコース：和田小学校、大町小学校	2人	高田 3班
	7	土	Eコース：上下浜小学校、大潟町小学校、有田小学校	3人	直江津 3班
	12	木	Aコース：城北中学校	1人	高田 1班
	13	金	Dコース：春日新田小学校、八千浦中学校、高士小学校	3人	直江津 2班
	14	土	Bコース：南本町小学校、清里中学校、直江津中等教育学校	3人	高田 5班
	18	水	Cコース：三和小学校	1人	高田 4班
	20	金	Cコース：板倉中学校	1人	直江津 5班
	21	土	Fコース：板倉小学校	1人	直江津 4班
9 月	3	水	Aコース：高田西小学校	2人	高田 1班
	20	土	Fコース：飯小学校	1人	直江津 4班
10 月	1	水	Cコース：高志小学校	1人	高田 4班
	3	金	Aコース：豊原小学校	1人	高田 3班
	7	火	Dコース：三和中学校	1人	直江津 1班

<街頭指導コース>

- A：高田駅周辺、立体駐駐輪場、本町通りなど
- B：ウイングマーケット周辺、ドン・キホーテなど
- C：春日山駅、謙信公広場、原信、雅子妃の森など
- D：直江津駅周辺、直江津ショッピングセンターなど
- E：イオンスーパー、ゼビオ、デポ、アピナなど
- F：イオン上越店周辺、薦屋書店、ジョーシンなど

<参加P T A>

・小学校	14 / 44校
・中学校	6 / 20校
計	20 / 64校

(3) 参加者の感想（抜粋）

- 思いのほか、すれ違う子どもたちが笑顔で挨拶をしてくれた。育成委員の方に付いて、屋外をいろいろ回り、普段は気にしない所でも注意をして見ることで、より地域、子どもの安全につながるのだと学んだ。
- 雨だったこともあり、人出は少なかったようだ。ゲームセンターには、子どもたちだけというよりも、保護者と一緒に来ている割合が高かった。小学生の子どもたちが元気に挨拶してくれたことが、大変気持ちよく、印象的だった。日々街頭指導をしてくださっている育成委員の方に感謝する。
- 街頭指導をしていることを今回初めて知った。体験をして、大変さや月一で行っていることも知った。公共トイレなどの点検もしていた。ごみ拾いもした。このような活動を毎月されていて、有難く思う。
- 指導の実際を見ることができなかつたが、すれ違う子どもたちや学生さんに常に挨拶されていて、返してくれる姿が印象的だった。「おかえり」という言葉がけは威圧感がなく。受け入れてくれているという印象を与える、よい言葉だなと思った。生活圏なので、たまり場になりそうな場所、死角についても確認できてよかったです。ありがとうございました。
- 下校の子どもたちは少なかつたが、きちんと挨拶できる子ばかりで安心した。注意する個所などふだん気づかないところもあり、勉強になった。声かけは日頃もできる活動なので、これからも実践していけたらと思う。
- 見回りの皆さんとの温かな視線と声かけが印象に残っている。いつも車で通りすぎる場所も歩いてみ

ると発見があった。案外、横断歩道が少ないとこの吸い殻があることが分った。天気が良かつたけれど暑くなり始めた時期の中の体験は大変だったが、普段は車で通るだけのゲームセンターやトイレなど、何より見回すことによって、抑止力の効果が絶大だと思った。

○道で小学生に会い挨拶をすれば、きちんと挨拶を返す良い場面が見られた半面、ゲームセンターで親の目から離れ自由に遊ぶ子どもも見られ、考えさせられた。見守る方々が、トイレの中のたばこの有無などまで確認していたのを見て、活動の大変さが感じられた。

(4) 振り返り

参加者の記録票には、実際に街頭指導を体験したことによって得られた、少年の非行抑止や地域の安全確保の取組、双方向で交わされる気持ちの良い挨拶、環境維持への協力など、街頭指導の意義と育成委員の取組について、全員から肯定的な評価が記されていた。この体験を通して得た情報を校内のPTA会員と共有し、自校での見守り活動や生徒指導に生かしてほしいと考えている。

なお、全日程終了後、実施報告の資料を市内小・中学校に送付する予定である。

4 育成委員研修会

(1) 第1回研修会

- ① 日時 令和7年4月18日（木）14：45～15：55
- ② 会場 教育プラザ 研修棟3階 大会議室
- ③ 参加者 育成委員40名
- ④ 内容 講話：「青少年健全育成の意義と街頭指導の心構え」
講師：上越市青少年健全育成センター所長

(2) 青パト研修会

- ① 日時 令和7年5月9日（金）15：00～16：00
- ② 会場 教育プラザ 研修棟1階 若者の居場所「Fit」
- ③ 参加者 役員・協力委員：12人、育成センター所員：2人
- ④ 内容 講話：「法的根拠」「運行上の順守事項」等
講師：上越警察署生活安全課生活安全係長
- ⑤ その他 パトロール実施者証交付

(3) 第2回研修会

- ① 日時 令和7年8月28日（木）14：00～15：30
- ② 会場 教育プラザ 研修棟3階 大会議室
- ③ 参加者 育成委員30人
- ④ 内容 講話：「上越市の通信制高校について」
講師：上越市立教育センター スクールソーシャルワーカー

(4) 第3回研修会（予定）

- ① 日時 令和7年10月22日（水）10：30～15：30
- ② 会場 県立海洋高等学校、海洋高校アンテナショップ能水商店、能生漁港（実習棟）
- ③ 参加者 育成委員23人
- ④ 目的 県立海洋高校の特色ある教育活動や教育施設を視察し、地場産業と高校生の関わりや実践的な学びによる成長、相撲部の取組等について理解を深めることによって、育成委員としての資質の向上と親睦を図る。

5 環境浄化活動（立入調査）

- (1) 日 時 10月1日（水）10:00～10:40
- (2) 場 所 上越市三和区下中1237
- (3) 参加者 設置者、青柳調査員（上越警察署）、杉原調査員（育成委員）、石田調査員（センター所長）、仁田調査員（指導員）
- (4) 対 象 図書類等自動販売機 3台
- (5) 結 果

3台の自販機に、図書・DVD・下着等が収納されていたが、「新潟県青少年健全育成条例」にふれる品物はなかった。また、販売機はミラーガラスとなっていて日中は内容物が見えないようにになっており、18歳未満立入禁止等の表示や周辺環境も適切に管理されていることを確認した。

設置者に対して、引き続き「新潟県青少年健全育成条例」を遵守するよう指導を行った。また、結果を県福祉部こども家庭課に報告するとともに、地権者に対して契約更新を思い留まるよう要請する予定である。



自販機設置箇所（新井柿崎線沿い）

6 社会を明るくする運動

- (1) 第75回“社会を明るくする運動”上越市推進委員会
 - ①日 時 6月2日（月）13:30～14:30
 - ②会 場 上越市教育プラザ大会議室
 - ③内 容 役員体制の確認、事業報告、事業計画、青少年健全育成DVD視聴、他
 - ④参加者 30人（事務局：育成センター・保護司会事務局）
 - ⑤その他 6月20日（金）に総理大臣メッセージを保護司会長から市長に伝達、懇談等。（保護司会7人、福祉課長、社会教育課長、センター所長が参加）



街頭宣伝活動（本町通り）

- (2) 宣伝用懸垂幕掲示
 - ①場 所 市役所木田庁舎、大手町ひろば（高田郵便局隣）
 - ②期 間 6月19日（木）～8月21日（木）

（3）街頭宣伝活動

- ①直江津地区
 - ・日 時 7月5日（土）9:20～ 出発式；直江津レインボーセンター
 - ・場 所 直江津ショッピングセンター、水族博物館、イチコ直江津西店
 - ・参加者 32人（市長、保護司会、民生・児童委員、町内会長、青少年健全育成委員、等）
 - ・内 容 啓発用ウェットティッシュ、リーフレットの配布による活動周知
 - ②高田地区
 - ・日 時 7月6日（日）9:30～ 出発式；雁木通りプラザ
 - ・場 所 イレブンプラザ（本町通り）、イオン上越店、上越モール
 - ・参加者 28人（教育長、保護司会、民生・児童委員、町内会長、青少年健全育成委員、等）
 - ・内 容 啓発用ウェットティッシュ、リーフレットの配布による活動周知
 - ③その他
 - ・頸城地区 6月20日（金）、柿崎地区 6月21日（土）、浦川原地区 7月6日（日）に実施。
- (4) 社会を明るくする作文コンテスト

保護司会広報部が作文コンテストのチラシを作成し、各校を訪問して周知を図った。その結果、小学校4校から6人、中学校2校から3人の応募があった。コロナ禍ご応募数が激減していたが、応募校数は令和に入ってから一番多くなつた。

保護司会広報部長を審査委員長とした5人の委員が9月8日（月）10:00～11:30に、教育プラザ小会議室で審査会を行つた。審査の結果、小学校3編、中学校1編を県推進委員会事務局に推薦した。県の審査結果は10月中旬頃に決定、通知される予定である。

※県推薦作品

- ・南本町小学校4年 「ジジが教えてくれたこと」
- ・稻田小学校6年 「やさしさでつくる明るい社会」
- ・上越教育大学附属小学校6年 「明るい社会づくりのためにできること」
- ・直江津東中学校1年 「犯罪や非行のない明日」

(5) その他

- ①青少年健全育成研究会を10月4日（土）13:30～15:00 城西中学校体育館を会場に実施。テーマは「オーバードーズに対する理解と対応」（保護司会が運営）
- ②県福祉部こども家庭課発行の『スマートフォン等のインターネットトラブルからお子様を守るために』保護者向け普及啓発リーフレットを、夏季休業前に、学校を通じて小学校4年生と中学校1年生全員に配布。
- ③広報「上越」7月号に、「第75回“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力～」、「7月は青少年の被害・非行防止全国協調月間」を掲載。
- ④教育プラザ内に、「第75回“社会を明るくする運動”」ポスターの掲示及びチラシと啓発用ティッシュの配置、「青少年の被害・非行防止全国協調月間」のポスターの掲示。

7 若者育成支援（4月1日～9月30日）

(1) 若者支援活動の広報（若者の居場所「Fit」、相談活動、親の会開催等の周知）

- ① リーフレットやチラシの配布、市ホームページや広報「上越」への掲載など
- ② 小・中・高等学校との連携・・・保護者紹介用の文書配布など

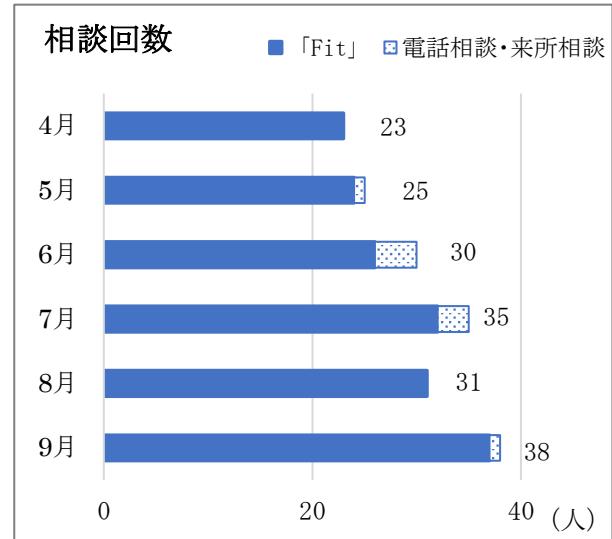
(2) 若者の居場所「Fit」の利用

- ① 内容 相談、学習支援、交流活動 など
- ② 運営体制 指導員2名

(3) 相談活用と「Fit」の利用状況

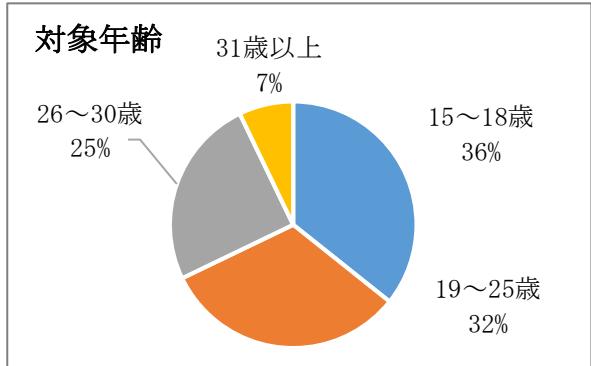
- ① 相談回数

	相談数		内訳			
			Fit利用		電話相談・来所相談	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	23	8	23	8	0	0
5月	25	9	24	9	1	0
6月	30	13	26	10	4	3
7月	35	14	32	12	3	2
8月	31	12	31	12	0	0
9月	38	13	37	12	1	1
合計	182	69	173	63	9	6
昨年同時期	112	48	107	43	5	5



② 相談者の対象年齢

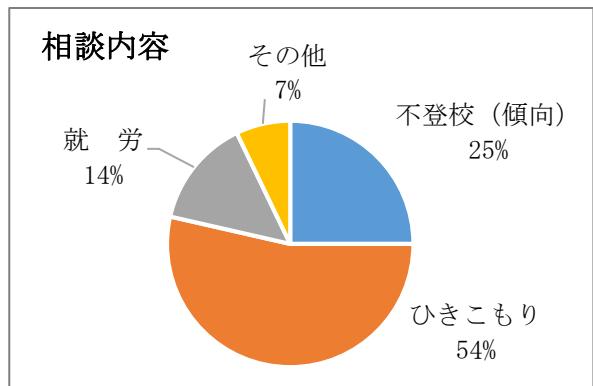
年齢層	相談者数			昨年 同時期
	「Fit」	「Fit」以外	合計	
15～18 歳	8	2	10	9
19～25 歳	8	1	9	10
26～30 歳	6	1	7	4
31 歳以上	1	1	2	2
合 計	23	5	28	25



- ・毎月、定期的に「Fit」を利用している人 12名
- ・毎月ではないが、不定期に「Fit」を利用している人 8名
- ・その他（問題解決、利用一時中断他） 3名

③ 相談者の相談内容

年齢層	相談者数			昨年 同時期
	「Fit」	「Fit」以外	合計	
不登校（傾向）	6	1	7	7
ひきこもり	14	1	15	15
就労	3	1	4	3
その他	0	2	2	0
合 計	23	5	28	25



④ まとめ

- ・「Fit」利用を含む全相談件数は182回であり、昨年度同時期の112回と比べ約1.6倍となっている。新規利用者が4月から6名おり、定期的に「Fit」を利用する人が増えたためだと考えられる。
- ・相談者数は28人であり、昨年同時期25人と比べ若干少増加している。
- ・相談年齢層では、15～18歳の割合は36%、19～25歳の割合が32%となっており、それ全体の3分の1となっている。
- ・相談内容は、今年度もひきこもりが一番多く、全体の54%を占めている。中学校時代に不登校だった生徒が高校入学直後から不登校になったケースや、高校卒業間際から不登校になり、地域包括支援センター、上越地域若者サポートステーションなどからの紹介で、来所するケースがある。また、就職活動がうまくいかず、悩み相談のため何度も継続して「Fit」を利用したケースもある。
- ・「Fit」で人間関係づくりの練習を重ねながら、少しづつ「Fit」以外の場所で過ごせるようになってきている利用者も増えてきた。
- ・アルバイトやボランティア活動、または地域包括支援センターや上越地域若者サポートステーションと連携して就労へと踏み出そうとしている利用者もいる。
- ・アルバイトや通信制高校へ通いながら、「Fit」を継続して利用しているケースもある。

(4) 「上越市の親の会」の開催

- ① 目的 不登校やひきこもりなど、子どもへの悩みをもつ親同士が語り合い支え合いながら、問題の解決へつなげようとする活動
- ② 会場 上越市教育プラザ 大会議室

	開催日時	参加人数	参加者の感想（複数回答）	
第1回	5月17日（土） 13:30～15:30	参加者 ピアサポーター カウンセラー センター職員 オブザーバー	7人 5人 1人 3人 1人	・気持ちを話して心が軽くなった（2） ・子どもの気持ちを理解したいと思った（1） ・自分だけじゃないと思えた（4） ・子どもと向き合う元気をもらった（1） ・誰かに話を聞いてほしかった（1） ・相談できる場が増えた（2）
第2回	7月12日（土） 13:30～15:30	参加者 ピアサポーター カウンセラー センター職員 オブザーバー	5人 4人 1人 3人 1人	・気持ちを話して心が軽くなった（4） ・子どもの気持ちを理解したいと思った（1） ・自分だけじゃないと思えた（4） ・子どもと向き合う元気をもらった（2） ・誰かに話を聞いてほしかった（0） ・相談できる場が増えた（3）
第3回	9月6日（土） 13:30～15:30	参加者 ピアサポーター カウンセラー センター職員 オブザーバー	5人 4人 0人 3人 3人	・気持ちを話して心が軽くなった（4） ・子どもの気持ちを理解したいと思った（2） ・自分だけじゃないと思えた（3） ・子どもと向き合う元気をもらった（2） ・誰かに話を聞いてほしかった（2） ・相談できる場が増えた（3）

③ 今後の予定

- ・第4回 令和7年11月15日（土）
- ・第5回 令和7年1月17日（土）
- ・第6回 令和8年3月7日（土）

8 その他

（1）第1回関係機関連絡会議

- ① 日 時 5月27日（火）14:00～15:30
- ② 会 場 上越市教育プラザ大中議室
- ③ 内 容 各機関の取組について関係者相互の理解を深めるとともに、現在の青少年の実態や健全育成上の課題の共有を図った。また、切れ目のない支援のための具体的な連携の在り方について意見交換を行った。
- ④ 参加者 17人（16機関）
- ⑤ その他の 第2回会議は、2月4日（水）14:00からの予定

（2）広報活動の充実

- ① 「青少年健全育成のあゆみ」の作成・配付（4月）
- ② 「青少年健全育成センターだより『愛育』」の発行（7月）
- ③ 「青少年健全育成委員協議会だより」の発行（6・10月）
- ④ 「広報上越」及び市ホームページ、報道機関への情報提供（隨時）

（3）地域青少年育成会議活動推進のための支援

- ① コーディネーター研修会、コーディネーター委員会等の活動支援
- ② 地域青少年育成会議実践事例発表及び意見交換会等の活動支援（12月7日実施予定）